

12月の果実の見通し

平成30年11月30日現在
山形県東京事務所

区分 品目	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年 平均	前年実績	前年比 見込	5ヵ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
りんご類	青森 長野 山形 ほか	6,946	98%	6,769	296	並み	301	923	13.3%	天候被害もあって各産地ともに当初見込みより数量は下方修正されているが、玉肥大良く大玉が多くなっている。前年とは玉流れが異なるので販売提案などには注意が必要。12月上旬にかけてはギフト需要も高まって、中旬以降も相場は堅調推移。特に品薄気味の上位等級品は引き合い強まる見込み。
西洋なし類	山形 新潟 ほか	703	90%	725	410	やや高	382	489	69.6%	前年は「ラ・フランス」「ルレクチエ」ともにの出荷量が多くあったが、本年は台風の影響が残ることから前年に比べ少なくなっている。また、両品種とも小玉傾向となつて切り上がりは前年より早まる見込み。12月中・下旬で終わる可能性もある。
かき類	福岡 奈良 ほか	2,691	85%	2,586	281	やや高	298	48	1.8%	「富有」中心の販売で、12月に入ると露地物に近いものは『袋掛け』になり、主力は『冷蔵』になる。12月の出荷量は前年並みにあるものの、前年に比べて『冷蔵』物も『露地』物と同じく若干小玉になる。年内は12月下旬まで販売を行なう。
干し柿	山梨 長野 福島	278	110%	178	367	安い	345	0	0.0%	本年は生柿全体に生育状況が良く、収穫が早く行なわれているため干し柿の作業も例年に比べ若干早い。11月下旬において前年比140%と多くなっているが、「市田柿」の出荷は例年と変わりはない。12月に入って各産地上旬はギフト用化粧箱の動きがあり、中旬以降年末年始に向けた流れになる。
みかん類	愛媛 長崎 熊本 ほか	30,757	110%	32,658	341	安い	278	-	-	気温高により各地とも前倒し気味の出荷となっている。前年は中生品種以降の数量が大幅に少なく、年末に向けて需要が逼迫する状況も見られたが、本年は不足感無い出回りとなる見込み。過去に例を見ない高値となった直近2年と比べれば価格安の展開だが、5ヵ年平均と比べれば堅調な相場。糖度が高く食味は良好だが、体質の弱さを指摘する声もあることから回転良く販売していくことが大切。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果株)
入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)